

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1956
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.6, (1956. 12) ,p.177- 177
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00060001-0177

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新證」をめぐつて……………村松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 賈夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——……………安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に國語法について——……………原 澤 正 喜

折口信夫教授講義題目……………

慶應義塾大學所藏聊齋關係資料目錄……………

彙 報……………

◇第五號（一九五五年）

好色五人女——成立をめぐる試論……………榎 谷 昭 彦

近松世話物の考察（序）……………鈴 木 昇

曾我物語傳承論——その二……………塚 崎 進

紅樓夢論争に對する批判……………村 松 暎

トーマス・マンのゲーテ觀——「ヴァイマル

のロッセ」を中心として……………小名木榮三郎

對話文學としての「ラモーの甥」——……………

ディドロ研究序説……………原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「繪入

讀本外題作者畫工書肆名目集」寫本……………森 武之助

彙 報……………

編 集 後 記

◎本號も特定の主題に限らない研究業績の集積です。

◎會員の活動狀況は、なるべく多く記載したいのですが、委員だけでは充分の調査が出来ず、不備になることが多いと思ひます

から會員各位がたえず御連絡下さることを希望します。

◎「藝文研究」第一——第五號の購入を御希望の方は、本會事務

所に御照會下さい。（各號定價二〇〇圓、送料二四圓）